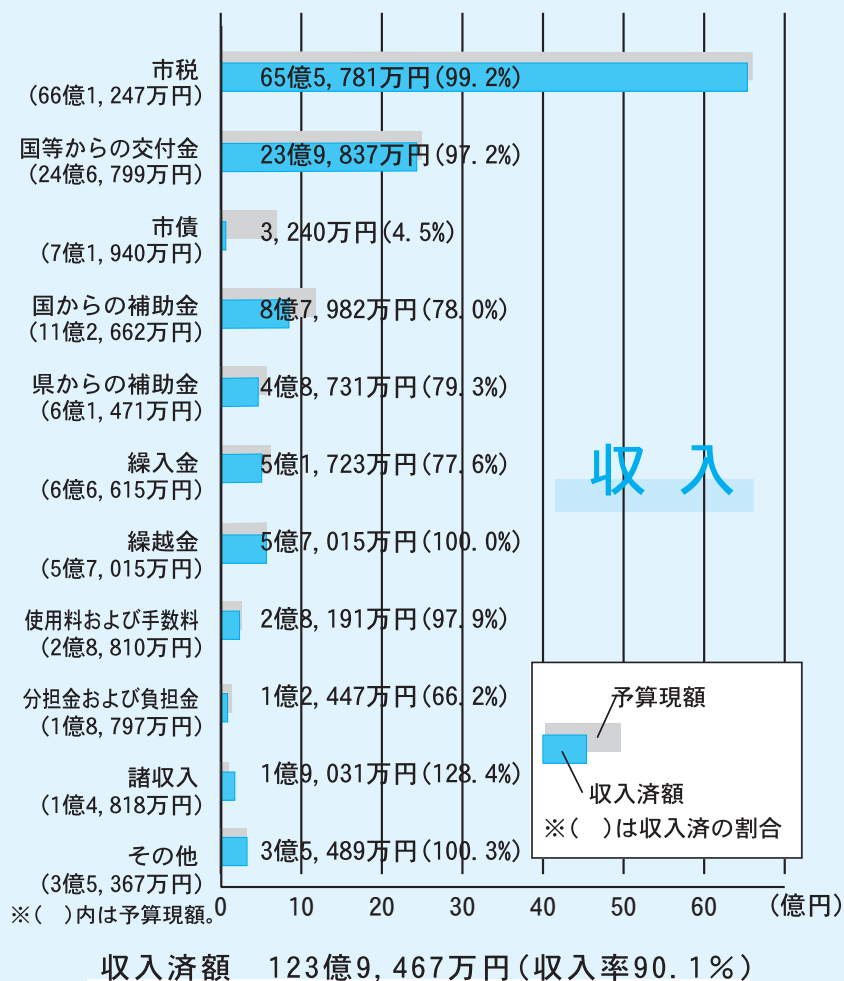


幸手市の家計簿

—平成19年度下半期の財政状況—

▼一般会計—予算現額 137 億 5,541 万円—▼



市税／市民税・固定資産税など、みなさんから納められた税金

国等からの交付金／地方交付税・地方消費税交付金など、国・県が徴収した税などの中から一定の基準に基づいて市が交付を受けるもの

市債／市が長期に資金の借入をした債務(借金)

国からの補助金／国から市に交付される補助金・負担金など

県からの補助金／県から市に交付される補助金・負担金など

繰入金／特別会計からの繰入金および基金の取りくずしによる繰入金

繰越金／前年度決算による今年度予算への繰越金

使用料および手数料／道路占用料・市営釣場使用料などの施設使用料、各種証明事務手数料や申請手数料など

分担金および負担金／各種検診一部負担金・老人ホーム入所者費用徴収金など

諸収入／貸付金元利収入・預金利子など

その他／土地建物貸付金・寄付金など

会 計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険	56億 252万円	52億8,081万円	94.3%	51億2,129万円	91.4%
老人保健	31億2,692万円	29億3,316万円	93.8%	28億 995万円	89.9%
公共下水道事業	8億4,452万円	7億4,532万円	88.3%	7億 934万円	84.0%
介護保険	20億 26万円	17億2,439万円	86.2%	16億9,791万円	84.9%
農業集落排水事業	1億 458万円	1億 446万円	99.9%	5,828万円	55.7%

国民健康保険特別会計

収入済額の多いものは、国民健康保険税15億6,935万円、療養給付費交付金11億3,115万円などです。
支出済額の多いものは、保険給付費34億4,840万円、老人保健拠出金8億1,179万円などです。

老人保健特別会計

収入済額の多いものは、支払基金交付金14億6,960万円、国庫支出金9億621万円などです。
支出済額の多いものは、医療諸費27億9,552万円、諸支出金984万円などです。

公共下水道事業特別会計

収入済額の多いものは、繰入金4億1,995万円、使用料及び手数料1億5,355万円などです。
支出済額の多いものは、公債費4億5,557万円、維持管理費1億837万円などです。

介護保険特別会計

収入済額で多いものは、支払基金交付金4億6,929万円、保険料4億212万円などです。
支出済額で多いものは、保険給付費15億1,729万円、諸支出金7,126万円などです。

農業集落排水事業特別会計

収入済額で多いものは、分担金及び負担金4,204万円、繰入金3,707万円などです。
支出済額で多いものは、諸支出金3,609万円、事業費679万円などです。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合に設けられ、特定の歳入をもって特定の歳出に充てるものです。市では、一般の歳入・歳出と区分して経理する必要がある事業について、5つの特別会計を設置しています。

市では、毎年2回に分けて、市の財政がどのように運営されているのかを公表しています。
今回は、平成19年度下半期(平成19年10月1日～平成20年3月31日)の予算の執行状況などをお知らせします。

平成20年3月31日現在の一般会計の予算執行状況は、予算額137億5,541万円に対し、歳入(収入)については、収入済額123億9,467万円、収入率90.1%となっています。また、歳出(支出)については、支出済額125億3,930万円、支出率91.2%となっています。

問合せ 財政課 ☎(43)1111 内線254・FAX(43)3783

民生費／老人福祉医療費、保育所費、生活保護費などに使われるお金

公債費／市が借り入れた借金の返済のお金

総務費／全般的な管理事務で財務管理や戸籍・統計・徴税・選挙などに使われるお金

土木費／道路の新設・補修費、河川・公園などの整備に使われるお金

教育費／小・中学校・幼稚園の管理運営、生涯学習・スポーツ振興などに使われるお金

衛生費／各種検診費、予防接種費やごみ・し尿処理などに使われるお金

消防費／消防・救急・消防団経費などに使われるお金

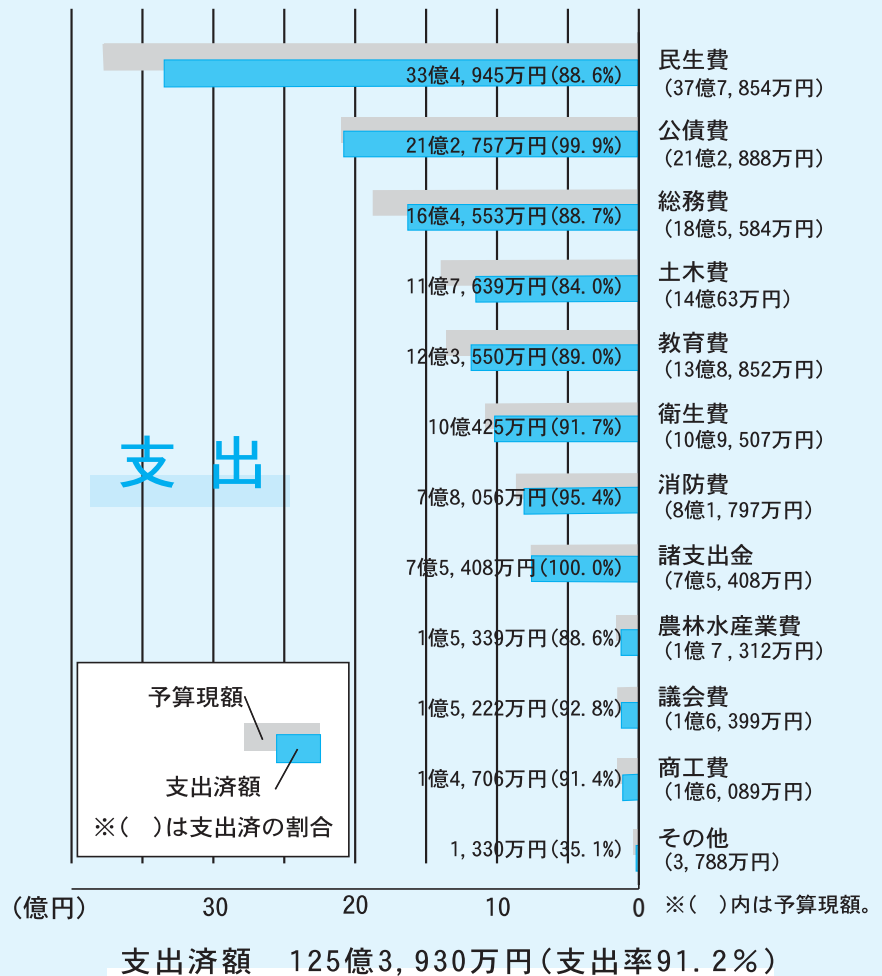
諸支出金／基金積立金・基金利子積立金

農林水産業費／農業の振興、育成、促進などに使われるお金

議会費／市議会の管理・運営に使われるお金

商工費／商工業の振興や観光施設の整備などに使われるお金

その他／労働費など



平成19年度下半期
市民一人が負担した市税
12万379円
市民一人に使われた市の予算
23万176円
※人口5万4477人 平成20年3月31日現在

▼企業会計（水道事業）

企業会計とは、地方公営企業法の適用を受け、利用者からの料金などによって、企業として経営する事業を行う公営企業の会計です。市では水道事業会計があります。

区 分	予算現額	執行率	説 明
収益的収入 (水道料金・分担金・受取利息など)	11億5,718万円	104.4%	水道水を供給することによって得られる収入など
収益的支出 (人件費・県水受水費・動力費・支払利息など)	11億2,099万円	95.0%	水道水を供給するために発生する費用など
資本的収入 (工事負担金・企業債(借入金)など)	605万円	100.0%	諸施設の整備(建設改良)のための収入
資本的支出 (建設改良費・企業債償還元金など)	5億4,295万円	97.1%	諸施設の整備(建設改良)のための支出

※資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部の資金(内部留保資金)により補てんされます。